

みとよ市民病院

実施日	令和7年8月6日（水）	実施時間	9：00 ～ 11：30
参加人数 計 4名	小学生 0名（男 0名・女 0名） 中学生 0名（男 0名・女 0名） 高校生 4名（男 0名・女 4名） その他 0名（男 0名・女 0名）		
実施 プログラム	・挨拶・参加者の自己紹介 ・記念撮影 ・院内見学（検査科、放射線科、救急外来、薬剤部、リハビリテーション科）各科担当者による業務内容の簡単な説明 ・看護体験（参加者同士でバイタルサイン測定、手洗いチェッカーによる手洗い実施） ・質問コーナー ・修了書交付		
実施内容	今年度は8月6日に「ふれあい看護体験」を実施し、高校生4名の参加がありました。はじめは緊張した面持ちでしたが、病院見学が進むにつれ次第に表情も和らぎ、担当者からの説明を熱心に聞いていました。 看護体験では聴診器を用いた血圧測定を初めて経験し、その難しさに悪戦苦闘しながらも楽しみながら体験することができました。また質問コーナーでは看護師を目指すにあたり、今からどんなことに取り組んでおいた方がよいのか、看護師になってよかったことは等将来を見据えた質問もあり、看護職に対する関心の高さを感じました。 今回の体験を今後の進路選択の際に役立ててもらえればと思います。		

参加者の声

高校3年生

普段病院へ行くことがないので、いつも見ることはできない所が見れてよい経験となりました。いつもと違う血圧計があって驚きました。少し知識が増えたとし、もっとがんばろうという気持ちになりました。（抜粋）



高校3年生

看護師になりたいという意思がさらに固まりました。志望校に受かり、国家資格に合格して医療現場でまたお会いできることを楽しみにしています。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。（抜粋）

高校1年生

今回の看護体験を通して、看護師という仕事の大変さや、病院で働いている人たちの仕事を近くで見れたり、体験できたりなど「医療」というものを直接知ることができてとてもいい経験になりました。1人の看護師さんが患者さんに寄り添っていて、看護とはこういうことなんだろうととても感じました。看護とは、患者さんが安心して療養できるように心を配り、精神的なサポートをする役割も担っていることを知り、深い感銘を受けました。（抜粋）

